

## 【平成 29 年 6 月の経済報告】

平成 29 年 6 月 22 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。初冬、平成 29 年 6 月の経済報告をお届けします。

### 1. 全般動向

4 月の C I（速報値・平成 22(2010)年=100）は、先行指数：104.5、一致指数：117.7、遅行指数：116.2 となった（注）。

先行指数は、前月と比較して 1.2 ポイント上昇し、3 か月連続の上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.07 ポイント下降し、12 か月連続の上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.62 ポイント上昇し、9 か月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 3.3 ポイント上昇し、2 ヶ月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 1.47 ポイント上昇し、2 ヶ月ぶりの上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.83 ポイント上昇し、9 か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.5 ポイント下降し、6 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 0.30 ポイント上昇し、9 か月連続の上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.30 ポイント上昇し、5 か月連続の上昇となった。

詳細は以下の HP をご参照下さい。

<http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/201704psummary.pdf>

### 2. 各経済指標

#### ◎ 月例報告（内閣府）（平成 29 年 5 月 24 日公表）

日本経済の基調判断

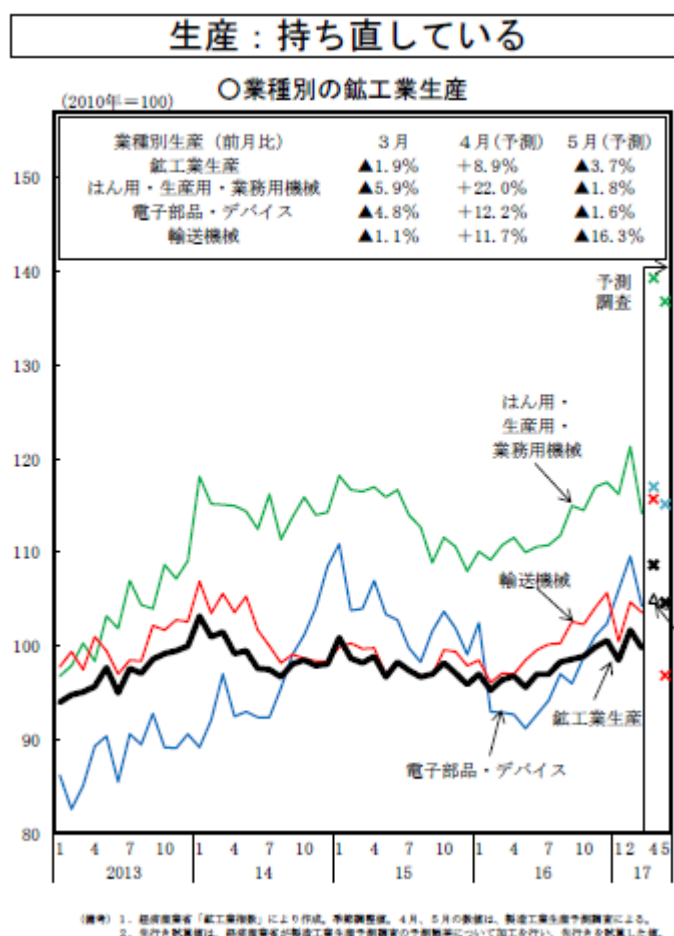
（現状）

- ・景気は、一部に改善の遅れもみられるが、穏やかな回復基調が続いている

（先行き）

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつ

て、穏やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。



詳細は以下のHPをご参照下さい。

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2017/05kaigi.pdf>

## ◎ 設備投資

### 平成 29 年 4 月実績：機械受注統計調査報告

(平成 29 年 6 月 12 日内閣府経済社会総合研究所)

機械受注総額の動向をみると、2017(平成 29)年 3 月前月比 1.3%減の後、4 月は同 2.7%増の 2 兆 2,966 億円となった。

需要者別にみると、民需は前月比 1.4%減の 9,287 億円、官公需は同 10.3%減の 2,365 億円、外需は同 17.4%減の 9,932 億円、代理店は同 0.8%増の 1,254 億円となった。

民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2017(平成 29)年 3 月前月比 1.4%増の後、4 月は同 3.1%減の 8,359 億円となった。このうち、製造業は同 2.5%増の 3,618 億円、非製造業(除く船舶・電力)は同 5.0%減の 4,715 億円となっ

た。

### 対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2016年 (平成28年)			2017年 (平成29年)		2017年 (平成29年)			
		4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (見通し)	1月 (実績)	2月 (実績)	3月 (実績)	4月 (実績)
受注総額		-5.3	-1.1	13.4	-7.9	-0.9	-10.0	-1.3	1.3	2.7
民需		-11.5	2.5	10.9	-14.4	0.1	-23.2	13.4	-12.4	1.4
〃 (除船電)		-6.4	5.5	0.3	-1.4	-5.9	-3.2	1.5	1.4	-3.1
製造業		-8.5	1.9	2.7	-4.2	-1.1	-10.8	6.0	0.6	2.5
非製造業(除船電)		-3.5	6.2	-1.0	0.0	-9.6	0.7	1.8	-3.9	-5.0
官公需		-12.8	8.3	13.5	-1.9	-13.6	20.4	-35.4	15.0	-10.3
外需		6.7	-8.6	15.5	-2.2	1.1	3.2	-1.1	-2.8	17.4
代理店		-6.8	7.5	-0.1	2.2	-4.0	-10.4	18.9	-3.1	0.8

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の HP をご参照下さい。

<http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1704juchu.html>

### ◎鋳工業指数調査

【最新プレス情報 平成 29 年 4 分】 (平成 29 年 6 月 14 日発表)

鋳工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)  
～製造業の動きから見る日本の景気～

<概況>

製造工業稼働率指数は、104.1 で前月比 4.3%の上昇であった。

製造工業生産能力指数は、94.0 で前月比-0.1%の低下であった。

製造工業生産能力・稼働率指数、平成22年（2010年）=100

	季節調整済指数		原指数		
	指数	前月比	指数	前月比	前年同月比
稼働率	104.1	4.3	98.7	-10.1	6.2
生産能力			94.0	-0.1	-0.6

鉱工業指数、平成22年（2010年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比	指数	前年同月比
生産 (速報値)	103.8 (103.8)	4.0 (4.0)	98.2 (98.2)	5.7 (5.7)
出荷 (速報値)	101.1 (101.1)	2.7 (2.7)	94.4 (94.4)	4.9 (4.9)
在庫 (速報値)	111.3 (111.3)	1.5 (1.5)	105.7 (105.7)	-1.1 (-1.1)
在庫率 (速報値)	114.7 (114.7)	2.9 (2.9)	110.5 (110.5)	-1.1 (-1.1)

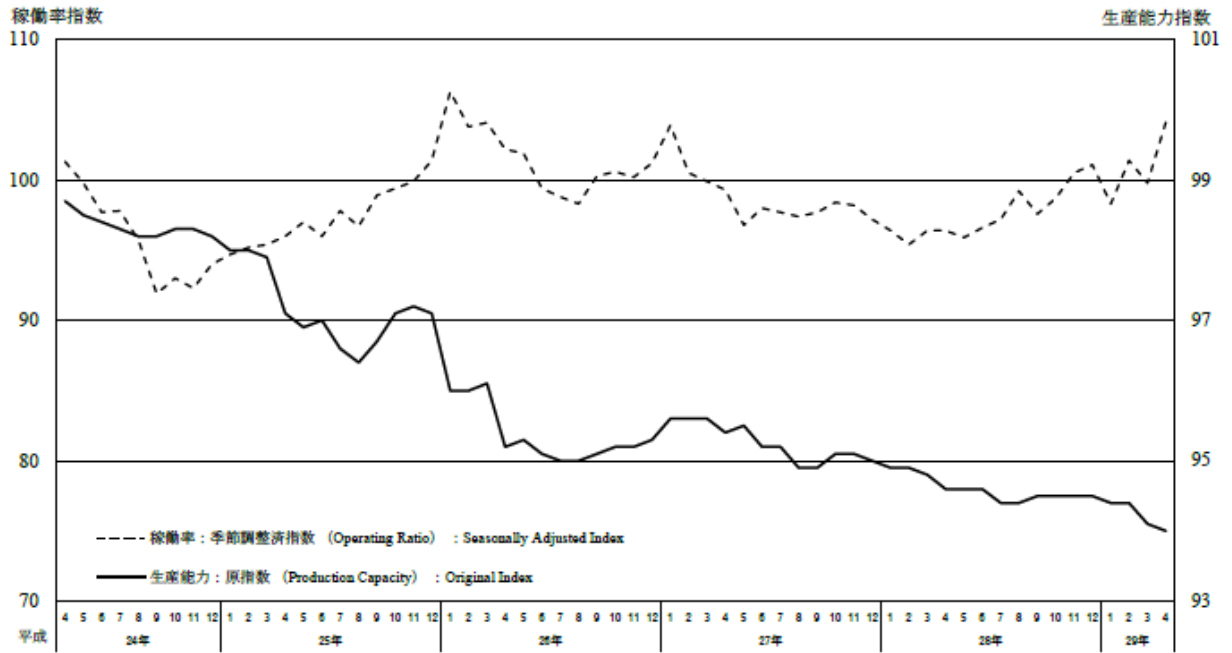
<電子部品・デバイス工業、電気機械工業>

(1) 4月の製造工業稼働率指数は、104.1で前月比4.3%の上昇であった。業種別にみると、輸送機械工業同10.6%、はん用・生産用・業務用機械工業同7.6%、電子部品・デバイス工業同2.7%が上昇し、パルプ・紙・紙加工品工業同▲1.6%、石油・石炭製品工業同▲0.5%、その他工業同▲0.3%が低下した。

(2) 4月の製造工業生産能力指数は、94.0で前月比▲0.1%の低下であった。業種別にみると、情報通信機械工業同▲2.9%、電子部品・デバイス工業同▲1.0%、化学工業同▲0.2%等が低下し、はん用・生産用・業務用機械工業同1.0%、窯業・土石製品工業同1.3%、非鉄金属工業同0.4%等が上昇した。

### 製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)

(平成22年基準)  
 (2010 average=100)  
 Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

平成22年 = 100  
index,2010= 100

年 月	稼働率 Operating Ratio				生産能力(末) Production Capacity				Year and Month
	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		原指数 Original Index				
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year			
平成 26 年			101.3	4.1	95.3		▲ 1.9	C.Y.	2014
27			98.7	▲ 2.6	95.0		▲ 0.3	C.Y.	2015
28			97.7	▲ 1.0	94.5		▲ 0.5	C.Y.	2016
平成 26 年度			100.6	0.6	95.6		▲ 0.5	F.Y.	2014
27			98.0	▲ 2.6	94.8		▲ 0.8	F.Y.	2015
28			98.6	0.6	94.1		▲ 0.7	F.Y.	2016
平成28 年 I 期	96.1	▲ 1.8	98.3	▲ 2.9	94.8	▲ 0.2	▲ 0.8	Q1	2016
II 期	96.3	0.2	94.7	▲ 2.6	94.6	▲ 0.2	▲ 0.6	Q2	
III 期	98.0	1.8	98.2	▲ 0.5	94.5	▲ 0.1	▲ 0.4	Q3	
IV 期	100.1	2.1	99.6	1.8	94.5	0.0	▲ 0.5	Q4	
平成29 年 I 期	99.8	▲ 0.3	101.9	3.7	94.1	▲ 0.4	▲ 0.7	Q1	2017
平成28 年 2月	95.4	▲ 1.0	95.9	▲ 2.3	94.9	0.0	▲ 0.7	Feb.	2016
3月	96.4	1.0	106.1	▲ 0.9	94.8	▲ 0.1	▲ 0.8	Mar.	
4月	96.4	0.0	92.9	▲ 4.2	94.6	▲ 0.2	▲ 0.8	Apr.	
5月	95.9	▲ 0.5	91.0	▲ 1.2	94.6	0.0	▲ 0.9	May	
6月	96.6	0.7	100.1	▲ 2.3	94.6	0.0	▲ 0.6	Jun.	
7月	97.2	0.6	100.5	▲ 4.5	94.4	▲ 0.2	▲ 0.8	Jul.	
8月	99.2	2.1	93.2	4.5	94.4	0.0	▲ 0.5	Aug.	
9月	97.6	▲ 1.6	100.9	▲ 0.9	94.5	0.1	▲ 0.4	Sep.	
10月	98.7	1.1	97.9	▲ 1.8	94.5	0.0	▲ 0.6	Oct.	
11月	100.5	1.8	101.5	4.4	94.5	0.0	▲ 0.6	Nov.	
12月	101.1	0.6	99.3	3.0	94.5	0.0	▲ 0.5	Dec.	
平成29 年 1月	98.3	▲ 2.8	96.2	3.6	94.4	▲ 0.1	▲ 0.5	Jan.	2017
2月	101.4	3.2	99.6	3.9	94.4	0.0	▲ 0.5	Feb.	
3月	99.8	▲ 1.6	109.8	3.5	94.1	▲ 0.3	▲ 0.7	Mar.	
4月	104.1	4.3	98.7	6.2	94.0	▲ 0.1	▲ 0.6	Apr.	

※ なお、詳細は以下の HP をご参照下さい。

[http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2010\\_201704nj.pdf](http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2010_201704nj.pdf)

## 2. その他の動向

### 1) 電子部品グローバル出荷統計

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) は、電子部品グローバル出荷統計の最新版月別出荷金額 (2017.05.31 発表) を公表しました。

- ・ 2017 年 3 月グローバル出荷額は 3,470 億円、前年比 107.3% となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品 (前年比 107.2% 1,168 億円)、接続部品 (同 112.7% 996 億

円)、変換部品(同111.1% 736億円)、その他の電子部品(同95.1% 568億円)となった。

・地域別出荷は、日本(前年比106.3% 885億円)、米州(同97.6% 336億円)、欧州(同105.2% 358億円)、中国(同104.4% 1,134億円)、アジア・その他(同119.7% 756億円)となった。

## 【月別出荷金額】

電子部品出荷額(億円)	2016年度						2016年度累計		
	1月		2月		3月		4月-3月		
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	
世界計	3,220	102	3,117	109	3,470	107	38,599	95	
(日本)	808	112	784	103	885	106	9,328	99	
品 目 別	受動部品	1,057	98	1,043	110	1,168	107	13,142	98
	コンデンサ	711	98	715	110	802	107	8,889	98
	抵抗器	116	105	116	111	127	109	1,403	99
	トランス	34	90	34	98	40	96	446	100
	インダクタ	191	98	173	115	194	108	2,357	96
	その他	3	102	3	113	4	124	44	98
	接続部品	907	116	903	117	996	112	10,529	100
	スイッチ	400	103	391	104	442	100	4,634	95
	コネクタ	502	129	507	130	549	125	5,837	104
	その他	4	113	5	125	5	113	58	106
	変換部品	749	108	670	109	736	111	8,397	96
	音響部品	201	123	152	95	153	96	1,912	87
	センサ	328	100	328	114	368	115	4,013	99
	アクチュエータ	218	111	189	115	214	116	2,472	99
	その他の電子部品	506	82	499	94	568	95	6,529	85
	電源部品	220	101	215	95	260	103	2,529	89
	高周波部品	285	72	284	93	308	88	4,000	82

## 【地域別出荷金額】

«2016年度»

地域別出荷金額(億円)	2016年度						2016年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	3,220	102	3,117	109	3,470	107	38,599	95
日本	808	112	784	103	885	106	9,328	99
米州	316	102	298	94	336	97	3,642	93
欧州	330	104	310	97	358	105	3,629	98
中国	1,053	91	1,019	120	1,137	104	13,716	90
アジア他	715	109	709	114	756	119	8,322	100

### ※電子部品グローバル出荷統計について

- ・本統計は、電子部品部会で実施している「電子部品企業のグローバル動向調査」を基に作成しております。
- ・本調査は、参加70数社から提出された、連結ベース(グループ間取引調整後)の出荷額データをとりまとめ、地域に関するデータは、原則として該当部品が消費される地域への出荷になります。  
なお、合計値につきましては、単位未満切り捨てのため、一致しない場合がありますので、ご了承ください。

※ なお、詳細は以下のHPをご参照下さい。

[http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

## 2) MEMS 関連最新調査

米国調査会社マインドコマース(Mind Commerce)の調査レポート「MEMS(微小電気機械システム) 2017 - 2022年：コンポーネント、製品、用途、垂直市場」は、MEMSのエコシステム、企業、製品、サービスなどの市場を査定している。2017-2022年のMEMS市場の機能、機器、用途、垂直市場を予測し、世界市場と地域毎に提供している。

内容は、

- \* 内蔵システムと MEMS
- \* MEMS 市場促進要因
- \* 企業分析
- \* MEMS 市場予測

となっております。

サマリーは以下の HP をご参照下さい。

<http://www.dri.co.jp/auto/report/mindc/mcmems.html>

以上